

さまざまに姿を変えるモノから
生活の知恵や日本とのつながりを見

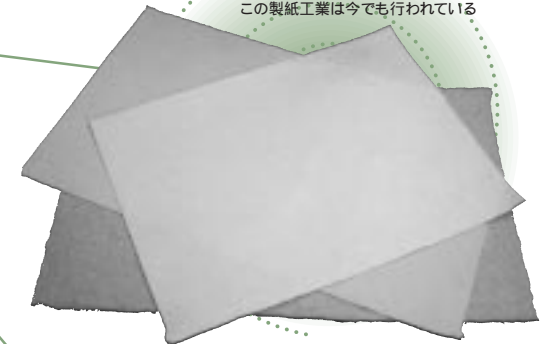
MoNo 変身図鑑

第8回 竹

電燈を発明したエジソンは、電球のフィラメントに竹繊維を使った。どの植物繊維よりも長く強い性質を利用したのだ。このような竹が持つ効能が、次々と明らかにされている。

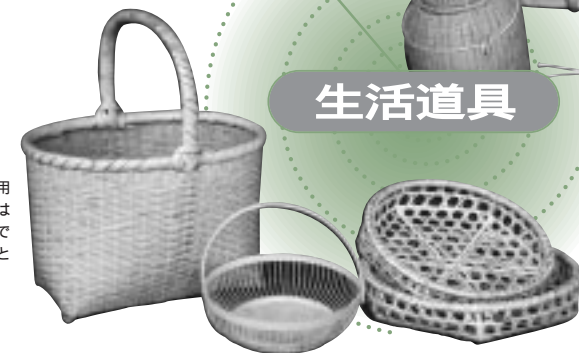
紙

東南アジアでは古くから竹の紙を作っている。この製紙工業は今でも行われている



生活道具

魚をとるトランプのモジ(上)とピク(下)。漁具のほか、田んぼのスズメ畚など農具としても活躍



ざる、ものさし、農具、食器、生け花用器、熊手、扇子、竹ばしなどの民具はアジアの国々では、都会でも、農村でも、漁村でも、至るところで見ることができる

しなやかで、かつ強い竹
1991年の大地震で被害を受けた南米コスタリカでは、毎年1500軒もの竹製の家が建築されている。やはり地震に見舞われたインドネシアのフロレス島でも、竹を使って家を建て直す計画が進行中だ。これは柔軟性に富む竹が、たわむことで家屋の倒壊を防いでくれるからである。
竹は古くから多くの地域で家屋に利用されてきたが、最近それが復活している。昨今の天然素材指向に加えて、竹の物理的・化学的特性が注目されてきたのだ。3年という非常に短い期間で生



東南アジアで一般的な竹の家具



1本がずっと空に伸びている日本の竹。東南アジアでは株立ちになった竹が多い

長する竹を材木として使うことで、森林減少という環境問題の解決に一役買っていると期待する声もある。
それだけではない。最近では竹を加工すると、コンクリートよりも強い素材になることが分かってきた。そのため木材に代わり、天井や床板、野球のバットやスキーボードなどにも使われ始めている。

古くて新しい竹の効用

竹は東南アジアや南米、アフリカに広く自生し、日常の道具として使われてきた。日本にもたくさん竹の道具が見られる。工芸品や茶器、よつがんやチマキ、寿司を包む竹の皮。しかし化学工業の発展とともにプラスチックにとって代わられ、見かけることも少なくなってきた。

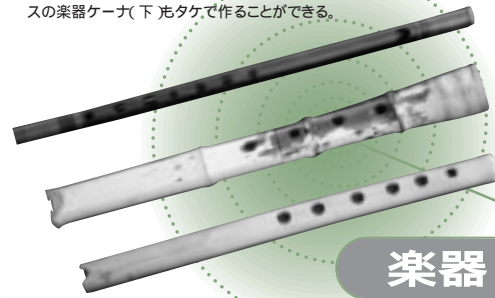
成長の早い竹は異常増殖し、竹林は荒れ放題。何とか竹林を再生したい。人々は竹林の整備を始め、その性質を研究し、従来とは違う利用法を探ってきた。まず竹は生命力が強い。ペトナム戦争の枯れ葉剤散布の中でも生き残り、広島への原爆投下1年後には再生したという記録が残っている。さらに竹には抗菌消臭作用がある。タケノコの皮でおむすびを包み、竹の水筒に水を入れたのは、理にかなったことなのだ。これらの効能が認められ、脱臭剤や化粧品、健康食品や介護製品など、多くの製品に竹が使われている。今、竹は再び役割を得て、生活に戻ってきた。

市場でも大活躍の竹のカゴ



効能が認められ、脱臭剤や化粧品、健康食品や介護製品など、多くの製品に竹が使われている。今、竹は再び役割を得て、生活に戻ってきた。

日本古来の楽器尺八(中)と篠笛(上)。アングレスの楽器ケーナ(下)もタケで作ることができる。

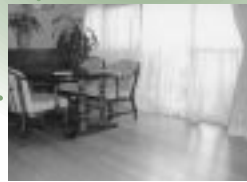


楽器

建材



床や壁、天井に竹を使った日本の家屋(上)。生垣、算、フェンスにも利用されてきた。東南アジアでは、インドネシアの舟形家屋トンコナン(右)や水上家屋、ボートにも利用



竹を原料にしたボードは抗菌消臭作用もあり、フローリング用新素材として注目されている



健康グッズ

竹炭には抗菌・消臭・遠赤外線効果があると人気。竹の炭を作るときに得られる竹酢液にはかゆみ止め、保水効果、保湿、抗菌、消毒、消臭効果があり、美容やスキンケアにいい



マレーシアの青竹料理ルマン

料理に使われる竹もいろいろ

日本では春先にしか味わえないタケノコが、一年中暑く雨が多い熱帯ではいつでも手に入り、多くの料理に使われている。ラーメンに入っているメンマ(シナチク)は、中国で採れる麻竹という竹の一種で、福建省や広東省では、豚肉と一緒に煮て食べるのが代表的な家庭料理だ。それをラーメンに入れたところ好評だったので、具として一般的になったという。ちなみに日本で一般的に食べられるタケノコは孟宗竹である。タイやマレーシアでは、青い竹筒にバナナの葉を入れ、これにもち米やココナツミルクを加えて蒸し焼きにする。地域により太い竹、細い竹、長い竹、短い竹と容器もいろいろ、味もいろいろだ。

協力：インドネシア共和国大使館 マレーシア政府観光局 富士竹類植物園 日本民家園 竹資材開発(株)